

# 電子メディアを併用した ピアノ弾き歌い教育の 実践と評価

---

中平勝子\*，赤羽美希\*\*，深見友紀子\*\*\*

\* 長岡技術科学大学

\*\* 深見友紀子ミュージックラボ

\*\*\* 京都女子大学

# はじめに

---

- 教員養成機関におけるピアノ実技／弾き歌い指導に関する授業改善
  - 短時間(1人あたり数分程度)の個別レッスン
  - ↓
  - 集合授業を通じた他者観察
  - 自己学習記録による内省的学習
  - Net-CAPIS(鈴木, 2005)
    - 学習者－教員間コミュニケーション
    - MIDI音源提出を活用
    - 模範演奏提示

# はじめに

---

- 初等教員養成機関におけるピアノ演奏／弾き歌い指導
  - 演奏：MIDI音源のみでも演者の様子が容易に想像できる（初等訓練の場合）
    - 音価，高さ（楽譜を忠実にトレースできているか）
    - 指づかいや演奏姿勢など，視覚的な情報はない
  - 弾き歌い：MIDI音源だけでは演者の様子が想像できない
    - ピアノ演奏法そのものの観点から（指づかい，曲想等）
    - 歌唱の観点から（発声等）
    - ピアノ演奏＋歌唱の観点から（姿勢，顔の表情等）

# 本研究の目的

---

- 実技映像提出と模範演奏提示の関係を分析
  - 実技試験結果から
  - 事後アンケート結果から

これらを通して,

— 実技映像提出

— eラーニングコンテンツ学習

それぞれの, ピアノ実技指導における役割を検討

# 実践環境

---

- 場所: 京都女子大学発達教育学部児童学科
- 科目: 児童音楽I
  - 声楽, コード進行, ピアノ弾き歌い実技指導
  - 2コマ連続で実施
    - 学期前半: 声楽90分, グループレッスン45分, 自習45分
    - 学期後半: 声楽60分, グループレッスン60分, コード進行(座学)60分
    - 5月下旬, 7月中旬に中間・期末弾き歌い実技試験
- 期間: 平成20年4~7月
- 履修者: 98名

# 授業デザイン

講義・個人指導

本方式

自主訓練

研修君

従来の方式

講義・個人指導の後  
特に講師は学生に働きか  
けず試験を行う

実技試験

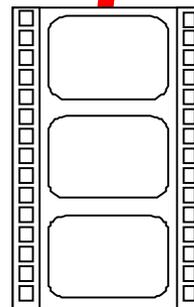
本方式

実技試験時の楽曲

- ・学生が自由に3曲を選定
- ・当日、指定された1曲を演奏

実技試験の採点法

- ・2名の教員が独自に採点
- ・両者の平均点が学生の得点



# 自主訓練に用いたもの

研修君(横山他, 2004)  
(本実践では, カメラ部に  
内視鏡技術を用いて延長)



教員・保育者養成のためのピアノ実技eラーニングコース  
- より良い歌唱へのFAQ -

ピアノ弾き歌い模範演奏	項目一覧
歌唱の模範演奏	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず自分の声を知ろう 「高い声を出すにはどうしたら良いの?」</li> <li>歌うときの姿勢、口の開け方 「歌うときの姿勢が悪いと言われます」</li> <li>呼吸のトレーニング法 「うまく息が吸えません」</li> <li>声をよく響かせるために 「声が小さいとよく言われます」</li> <li>日本語の発音のコツ 「歌うと日本語がちよっと変です」</li> </ul>
注釈付き楽譜	
より良い歌唱へのFAQ	
目次へ戻る	

- あめふりくまのこ
- いぬのおまわりさん
- おもいでのアリウム
- しゃまんだま
- ぞうさん
- とんぼのめがね
- もりのくまさん

注釈付き楽譜

より良い歌唱へのFAQ

目次へ戻る

模範演奏

△ 画像をクリックすると再生します △

「ぞうさん」の注釈付き楽譜 [PDF形式, 331KB]

教員・保育者養成のためのピアノ実技eラーニングコース  
- ピアノ弾き歌い模範演奏 -

ピアノ弾き歌い模範演奏	ぞうさん
<ul style="list-style-type: none"> <li>あめふりくまのこ</li> <li>いぬのおまわりさん</li> <li>おもいでのアリウム</li> <li>しゃまんだま</li> <li>ぞうさん</li> <li>とんぼのめがね</li> <li>もりのくまさん</li> </ul>	<p>指の動き      顔の表情      全体の雰囲気</p> <p>△ 各画像をクリックすると再生が始まります △</p> <p>「ぞうさん」の注釈付き楽譜 [PDF形式, 331KB]</p>
歌唱の模範演奏	
注釈付き楽譜	
より良い歌唱へのFAQ	
目次へ戻る	

ワンポイント・アドバイス

ぞうさん ぞうさん おはながなかいのね

女性にとってちょうど歌いにくい音域から始まります。声が浮き上がって不安定な声になったり、逆に、かんまりすぎて言葉が切れ切れになってしまったりがちです。

歌い始める前の前奏のメロディに合わせてながら、呼吸を整えて、歌い始める前のブレスでは鼻と口を自然に開いて、息を取り込みます(より良い歌唱へのFAQ「呼吸のトレーニング法」を参照してください)。歌い始めたら、おなかの支えをしっかり意識して、ブレスとブレスの間の2小節間は息の支えをできるだけ保ちながら、音が切れ切れにならないように、ひとつひとつの母音をつなぐように歌うことを心がけましょう。そして「おはながなかいのね」の部分に出てくる鼻濁音(ガキゲゴ)を美しく、かつ自然に発音するよう気をつけましょう(より良い歌唱へのFAQ「日本語の発音のコツ」を参照してください)。

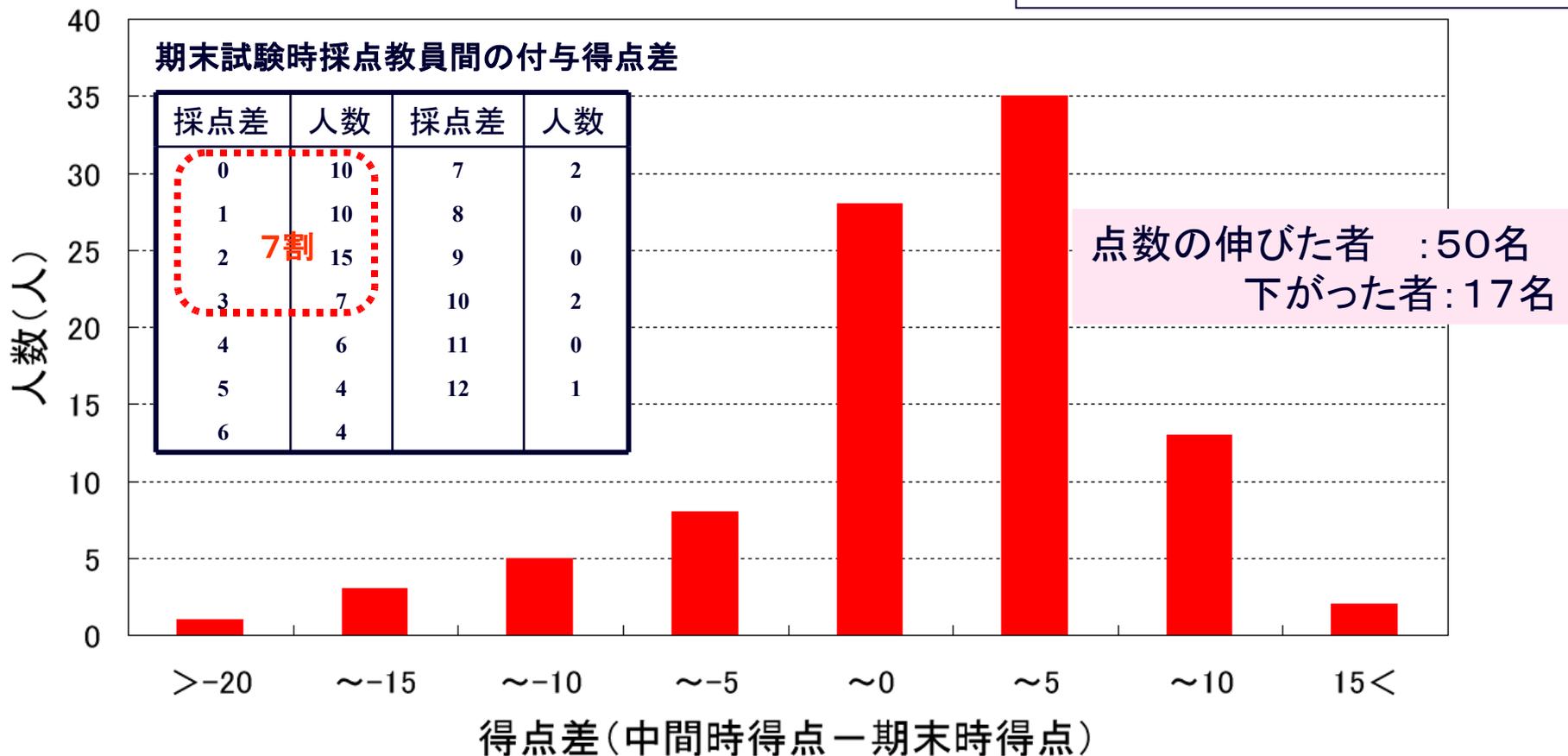
Video 動画による解説

eラーニングコンテンツ  
(中平他, 2008)

# 分析1：実技試験結果

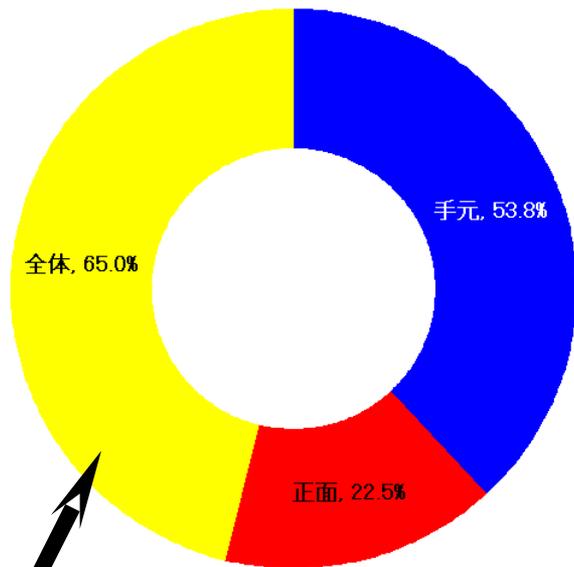
中間／期末試験における得点差

実技試験当日の楽曲選定：  
模範演奏と同一曲を候補曲とした者→28名  
実際に模範演奏曲を演奏した者→8名



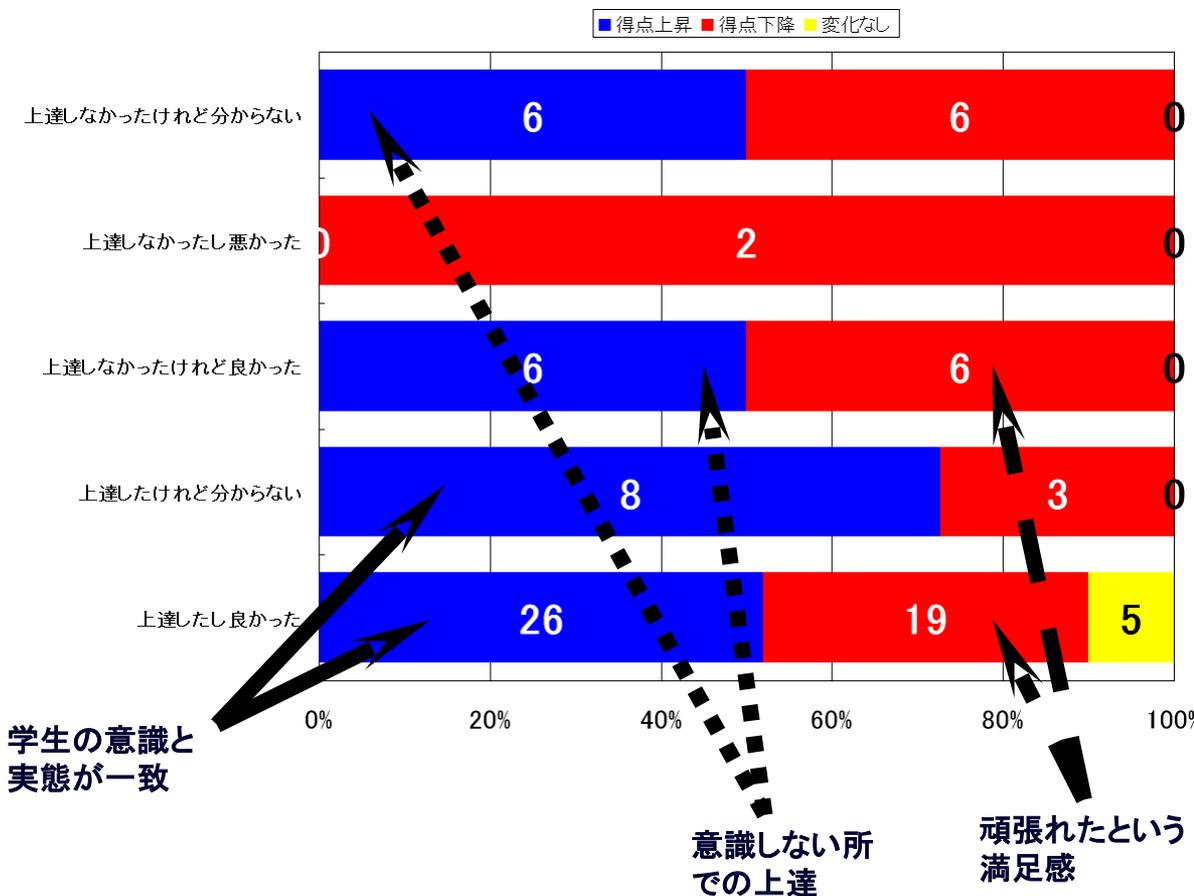
# 分析2: 事後アンケートから(多肢)

参考になった  
模範映像のアンゲル



手元よりも全体の  
雰囲気を確認したい

研修君を使った感想と得点分布



# 分析2: 事後アンケートから(記述)

## 実技試験時に注意したこと

姿勢	19	eラーニング教材のアドバイス	6
大きな声で歌う	12	ダウンロード楽譜に記載されていること	5
指づかい, 指の形	12	先生に指摘されたこと	4
顔の表情	8	演奏するテンポ	4
eラーニング模範映像	7	間違えない様に	3
緊張しない様にする	7		

- ・大きな声で歌う, 顔の表情, 姿勢
  - 対面指導で指摘されているが, 自覚しづらい
  - 自身の演奏映像を見ることで, 自覚可能に
  - 模範映像と併せて比較することで, 更にステップアップ可
- ・「間違えない様に演奏する」「楽想」に関係しない部分が主

## 分析2: 事後アンケートから(記述)

- 映像提出前に自分の映像を確認して、姿勢の悪さに気づいた
- 映像を取ると、自分の歌声がピアノに負けていて殆ど歌が聞こえていないことに気づいた
- 映像を見て、自分が思う以上に大げさに表情をつけないと伝わらないことに気づいた

- 
- ・教えられる以上に、自身の映像を振り返ることで演奏上の欠点を自覚
  - ・模範映像を記憶にとどめることで、自身の音楽/情感表現についても内省

# まとめ

---

- 実技映像提出の意義
  - 提出前映像チェックを通じて自己内省の誘発
  - 「気づき」の場を創生
- 実技指導におけるeラーニング教材の役割
  - 模範演奏や注意事項の提示
    - 模範演奏の提示→自己内省の一助
    - 注意事項の提示→実技本番時へのガイド

実技映像提出と、確実な模範演奏・注意事項の提示が、  
模範演奏曲に拠らない実技能力を育成する